

眼科 Ophthalmology

視界に黒い糸くずが飛んでいるように見える・・・

『網膜剥離』かもしれません

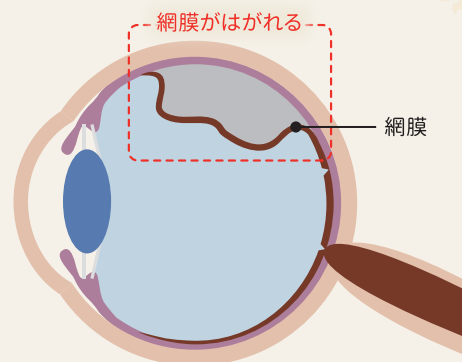
秋はスポーツや行楽で体を動かす機会が増える季節です。

転倒やボールが当たるなど、目の外傷をきっかけに、網膜に大きなダメージが及ぶことがあります。

その結果、網膜剥離(もうまくはくり) という病気が起こることがあります。

目の奥で起こる病気 網膜剥離とは？

目の奥には「網膜」という薄い膜があり、カメラでいうフィルムの役割をしています。光を感じ取り、脳に映像を伝えるとても大切な部分です。網膜剥離とは、この膜がはがれてしまう病気です。網膜がはがれると、網膜自身が死んでゆくために、光を正しく感じられなくなり、放っておくと視力が大きく低下してしまいます。



年齢だけじゃない、 若くても起こり得る目のトラブル

網膜剥離の原因は網膜に穴(裂孔といいます)が生じることです。50代になると誰でも硝子体が網膜から剥がれる「後部硝子体剥離」を生じます。多くの場合、黒いものが飛ぶ「飛蚊症」を自覚する程度ですが、人によっては裂孔を生じて網膜剥離になってしまいます。近視では後部硝子体剥離が若年で起こる傾向にあり、若くても注意が必要です。激しい打撲でも生じることがあり、ボクサーでは多い病気です。

注意したい症状

飛蚊症

黒い点や糸くずのようなものが見える。急に増えたら要注意。

光視症

視界の端にピカッと光が走る。

視野の欠け

カーテンをかけたように暗く見える。



早めの受診が大切です

網膜剥離は「自分には関係ない」と思って受診が遅れるケースが少なくありません。

しかし、早期に見つければレーザー治療で済むこともあり、視力を守れる可能性が高くなります。

特に強度近視では進行が速く、数日で失明に至ることもあるため要注意です。

もし上記のような症状に気づいたら、早めに眼科を受診してください。

夏のダメージをリセット

“乾燥知らずの肌”へ衣替え[☆]

夏の紫外線や冷房でダメージを受けた肌は、秋になると乾燥や小ジワが目立ちやすくなります。そのまま放っておくと、肌の不調につながることも…。今回は「乾燥知らずの秋肌」を育てるポイントをご紹介します。

保湿不足を感じる方におすすめの成分

＼ 肌のバリアを高め、しっとり柔らかく整える成分をチェック！ ／

セラミド

年齢とともに減少し、50代では20代の約半分に。セラミド含有製品を使用すると肌のバリア機能が高まります。

ヒアルロン酸

分子量の異なる種類があり、肌をやわらかくしっとり保ちます。「とにかく潤いが欲しい」方におすすめ。

ナイアシンアミド

皮膚のバリア機能改善に加え、抗炎症・抗酸化作用も。シミのケアにも役立ちます。

スキンケアの見直し

＼ 肌のうるおいを逃さない基本のケアを見直そう！ ／

洗顔

強い洗浄力のものは避け、ぬるま湯でやさしく。時間をかけすぎないことも大切です。

保湿ケア

季節に合わせて使う成分を調整しましょう。乾燥が気になる方は、高保湿成分を取り入れ、仕上げに乳液やクリームで水分の蒸発を防ぎます。

肌のうるおいを失わせる
4つの落とし穴

NG

- ✓ 保湿不足
- ✓ 間違ったスキンケアや季節でスキンケアを変えていない
- ✓ 気温の変化
- ✓ 軽い湿疹になっている(ザラつき)

医療法人恭青会グループ
<https://kyoseikai.com/>



いくの眼科

<https://kyoseikai.com/ikuno-eye/>
Tel. 06-6309-4930

いくの眼科 武庫之荘院

<https://kyoseikai.com/mukonosou/>
Tel. 06-6423-8871

なかやま形成外科
美容クリニック

<https://kyoseikai.com/nakayama-keisei/>
Tel. 06-4950-7140

LINE 公式アカウント
QRコードからお友達登録お願いします

いくの眼科
十三本院



いくの眼科
武庫之荘院



なかやま形成外科
美容クリニック



@kyoseikai @nakayama_clinic

@kyoseikai.eye.doctor